



外科医療安全 セミナー

手術の質と安全を担保できる
外科医を育成するために
外科教育に求められるもの

これまで、本邦では外科手術手技は主として指導医と修練医の間の徒弟制度（のようなもの）で伝承されてきたため、指導医や施設毎でのばらつきがあった。患者に対して均一で質の高い外科治療を提供することは医療安全の側面からも重要であり、科学的根拠に基づいたシステムティックな外科教育が必要である。日本ではまだ産声をあげたばかりの「外科教育」という分野で日本外科教育研究会（JASE）を主宰し、本分野での先導役としてご活躍されている演者を2名お招きし、外科教育分野の可能性についてご講演をいただきます。また、米国内視鏡外科学会（SAGES）の公式安全教育プログラム FUSE（Fundamental Use of Surgical Energy）では、電気メスの正しい使い方から危険性まで、全ての外科医が知っておくべき知識をハンズオンを通して学ぶことができます。研修医からベテラン外科医まで目から鱗の内容が満載です。ぜひご参加ください。

講演1

日本の外科教育の現状と課題

外科手術の“質”を担保するために
求められる外科教育とは

講師/倉島 庸 先生

北海道大学大学院 医学研究科
クリニカルシミュレーションセンター
主任・准教授

講演2

SAGES Fundamental Use of Surgical Energyに学ぶ

目から鱗! 電気メスの基礎原理と
関連有害事象

講師/渡邊 祐介 先生

手稲溪仁会病院外科
北海道大学大学院 医学研究科
消化器外科学分野 II



2017
1.21(土)
13:00▶17:00

会場

筑波大学 健康医科学イノベーション棟8階 大講義室